



**The Asian Conference on Safety and Education in Laboratory 2018
(ACSEL2018)**

開催趣意書

ACSEL2018

The 5th Asian Conference on Safety and Education in Laboratory
21-22 November 2018

Okinawa Institute of Science and Technology Graduate University, Okinawa, Japan

お問い合わせ先:

東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学 環境安全研究センター気
付

ACSEL2018 実行委員会事務局

担当 辻 佳子(東京大学 教授)

FAX 03-5841-0909

E-mail acsel@esc.u-tokyo.ac.jp

1. 主催者挨拶

安全・安心を願う気持ちは人間の本能であります。産業界の生産活動や研究開発活動においても大学の教育研究活動においても安全が強く求められております。この会議は、Asian Conference on Safety and Education in Laboratory (ACSEL)実行委員会が、1年ごとに開催する会議であります。2014年に第1回が東京大学にて開催され、インドネシア、韓国、シンガポールで順次開催され、この度第5回目を迎えるにあたり、再び日本で開催されることになりました。会議では、アジア太平洋地域を中心にトップレベルの大学および政府関係者が、国を超えた共通の課題である研究開発現場における環境安全レベルの向上と安全意識の高揚、社会に輩出する人材の環境安全素養に関するグローバルな質保証について、お互いの有用な情報交換、環境安全管理および教育に関する議論を行うことを目指しております。

ACSELの中核をなす環境安全学は、研究現場の実態や特徴に関する科学的・定量的解析とモデル化を通じた環境安全構造を研究する学問であります。環境安全構造安定化要因を抽出することにより、環境安全確保のためのハード的(設備・装備など)およびソフト的(手順・手技・運用など)な方策、環境安全管理手法への適用、合理的かつ実効的・具体的で各専門分野に対応可能なフレキシビリティを考慮した教育手法構築が可能となります。特に現在では、研究推進の活性化・多様化・学際化、組織構成員は学生から研究員や教職員と多岐にわたり、国際化の推進も相まって、国内外からの研究者の流動化が進んでおり、ともするとリスクの高度化・複雑多様化と増加をもたらしております。環境安全学は、環境安全を学術研究の推進のために必要となるインフラとしてのみならず、複雑系システムである研究現場を対象とした新しい学問領域として、文科系理科系を問わずあらゆる研究分野の環境安全の水準を高め、今後の更なる国内外への情報発信について大きく期待されております。

このような状況を踏まえ、この度のACSEL2018では、「新学術、融合領域を創出する環境安全学」をメインテーマに、リスク認識、環境安全文化醸成、各国ネットワークの役割を主要題目として、基調講演、研究発表、パネルディスカッション、討論を行う事を予定しております。

我が国がこのテーマを先導し、世界を担う知の拠点として研究高度化および分野融合に対応可能な日本初の環境安全学に関する研究を全世界の研究者に大きくアピールするために、大学等環境安全協議会、国立大学法人東京大学、学校法人沖縄科学技術大学院大学に共催していただき、私立大学環境安全協議会にも協賛いただいております。また、文部科学省(予定)、科学技術振興機構、日本学術会議、国立大学協会、日本私立大学団体連合会にもご後援いただいております。

産学官から広くご参画頂き、直面する課題解決について皆でご議論いただき、持続可能な社会の実現を目指す革新的な知の協創に貢献していきたいと考えております。

格段のご理解とご支援を賜りますよう、どうかよろしくお願いたします。

2018年1月吉日

ACSEL2018 実行委員長 村田 静昭

2. 基本情報

行事等の名称: The Asian Conference on Safety and Education in Laboratory 2018

日時:2018年11月21日(水)~11月22日(木)

会場:沖縄科学技術大学院大学(所在地:沖縄県国頭郡恩納村)

主催:ACSEL2018 実行委員会

共催: 大学等環境安全協議会

国立大学法人東京大学

学校法人沖縄科学技術大学院大学

協賛: 私立大学環境安全協議会

後援: 文部科学省(予定)

科学技術振興機構

日本学術会議

国立大学協会

日本私立大学団体連合会

参加予定者:環境安全衛生に関わる研究者、技術者 約 250 名、

(インドネシア、韓国、シンガポール、タイ、台湾、中国、香港、マレーシア、ブルネイ、オーストラリア、ニュージーランド、デンマーク、スウェーデン、アメリカ合衆国、日本 等)

使用言語:英語(一部日本語同時通訳あり)

ホームページ:<http://www.acsel.esc.u-tokyo.ac.jp/2018/index.html>

プログラム案:テーマに基づき基調講演、口述発表、ポスターセッション、パネルディスカッション、交流会など多様な内容を予定しております。

	午 前	午 後	夜
11月20日 (火)		(同時開催国内会議) 企業展示	実行委員会
11月21日 (水)	来賓挨拶 基調講演 企業展示	口演 ポスター研究発表 企業展示	自由討論会
11月22日 (木)	口演研究発表 企業展示	パネルディスカッション 口演発表 企業展示	

実行委員会：

担当	氏名	所属（職位）
委員長	村田 静昭	名古屋大学（教授）
プログラム委員 委員長	辻 佳子	東京大学（教授）
	吉岡 敏明	東北大学（教授）
	伊藤 和貴	愛媛大学（教授）
広報・印刷担当委員 委員長	吉識 肇	理化学研究所
	飛野 智宏	東京大学（助教）
総務・経理担当委員 委員長	大島 義人	東京大学（教授）
事務局	辻 佳子	東京大学（教授）
	田中 敦子	東京大学（学術支援職員）

ACSEL2018 へのご協力をお願い

ACSEL2018 実行委員長
村田 静昭(名古屋大学教授)

今年 11 月に ACSEL2018 を日本で開催する運びとなりました。つきましては、以下のご協力を賜りますようご検討の程お願い申し上げます。

1. ACSEL2018 の趣旨にご賛同いただくこと
2. 貴社の皆さまに ACSEL2018 にご参加いただくこと
3. 貴社から企業展示等にご応募いただくこと

是非ともご賛同、ご協力いただけますよう重ねてお願い申し上げます。

	Diamond	Platinum	Gold	Pearl
価格	500,000 円	300,000 円	100,000 円	50,000 円
ホームページへの謝辞の掲載	✓ (特大)	✓ (大)	✓ (中)	✓ (小)
学会バックへのロゴマーク掲載	✓ (大)	✓ (中)	✓ (小)	含まれず
ポスター展示	✓	✓	✓	✓
テーブル展示	テーブル 2 個 W=1.8 m D=0.9 m H=0.7 m	テーブル 2 個 W=1.8 m D=0.9 m H=0.7 m	テーブル 1 個 W=1.2 m D=0.6 m H=0.7 m	含まれず
学会バックへのパンフレット挿入	✓	✓	含まれず	含まれず
ACSEL2018 無料参加人数	6 1 名追加ごとに 10,000 円	4 1 名追加ごとに 10,000 円	2	1

上記以外のスポンサー:配布 USB 制作(スポンサーのロゴ入り)

コーヒースタンド(スポンサーのビデオ上映)

ランチ(スポンサーのビデオ上映)

かりゆしウエア制作(スポンサーのロゴ入り)

以上